

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-50	中学校	国語科	国 語	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 830	伝え合う言葉 中学国語 2		

1. 編修の趣意及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」と、学習指導要領に示された教科目標の達成を旨とし、以下の方針に基づいて編修しています。

☆国語で扱う三つの領域（教材例）

○話すこと・聞くこと

- 図表を用いて提案する…………… 34
- 話を聞いて自分の考えと比べる…………… 172
- 役割を決めて討論する…………… 224


○書くこと

- 新聞の投書記事を書く…………… 48
- 写真から物語を創作する…………… 98
- お礼の手紙を書く…………… 130
- 意見文を読み合う…………… 174
- 四コマ漫画から意見文を書く…………… 188


○読むこと

タオル…………… 18	ガイアの知性…………… 160
● 夢を跳ぶ…………… 54	学ぶ力…………… 178
敦盛の最期…………… 106	走れメロス…………… 204
● 水の山 富士山…………… 152	言葉は私の聴診器… 228

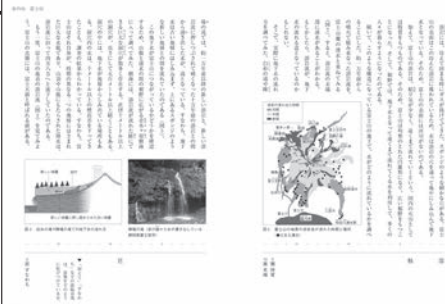
「福祉施設への訪問」を話題に発表する活動を通して、公共の精神に基づいた主体的な社会参画を促します。(p.35)




人間の動物に対する態度を考える教材を通し、生命を尊び、自然を大切に育てます。(p.164・166)




世界遺産の富士山を題材に、我が国の伝統文化を尊重する態度を養います。(p.154～155)




試練を乗り越えて生きる作者の文章を読み、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(p.54)



身近な言語活動を通して、幅広い知識と教養を身に付けます。(p.132)



写真から物語を創作する活動を通して、自己の価値を尊重し、創造性を培います。(p.99)



☆ 国語科の三つの領域を支える一つの事項

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

〔古典教材〕 生徒に親しみのある教材と、豊富な写真、及び、資料を掲載し、我が国の伝統文化を尊重する態度を育むことができるよう考慮しています。

現代でも源平の戦いのドラマが楽しませている『平家物語』や、多くの教訓を与えている『論語』では、独特の文章の調子を声に出して読んだり、図版や絵巻、写真などの充実した資料を参照したりすることで、学習者の興味と関心を喚起します。また、古典教材の次に、近代文学へと学習者をいざなう読書教材を設けたり、日本の豊かな四季と言葉を結びつける美しい写真とともに構成した「四季のたより」を設定したりするなど、古典から現代へとつながる豊かで幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮しています。

〔言語教材〕 言葉に関する幅広い知識と教養を、日常生活の中から楽しく身に付けられるよう、脚本仕立てのコラムを、導入ページとして設定しました。

〔巻末折込・見返し〕

教科書巻末の折込、見返しには、教室の実態に合わせて、日本の伝統的な言語文化についての幅広い知識と教養を育み、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てることに寄与する豊富な資料を掲載しています。

- ①『近代文学史年表』では、日本の近代文学の代表作を紹介。
- ②『古典作品へのいざない』では、『方丈記』『源氏物語』の冒頭を掲載。
- ③『伝統芸能へのいざない』では、歌舞伎の基礎知識を丁寧で紹介。
- ④『他者を知り、ともに生きる』では、上代から近代にわたって読み継がれ、生徒の道德心を育む日本の名著の一節を多数紹介。
- ⑤『「ふるさと」を巡る』では、文学作品にゆかりのある風景を、3学年にわたって都道府県別に紹介。文学を通して郷土を愛する心を育みます。



▶見返し14～15

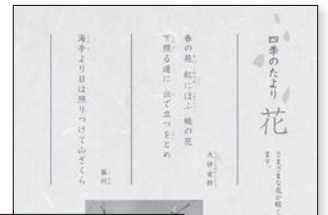
▼p.126～127



◀p.107



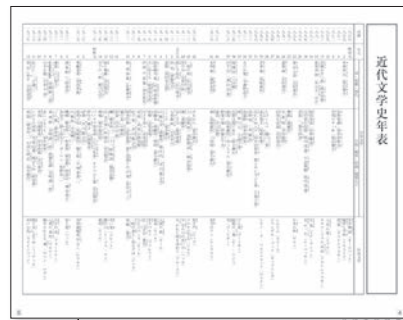
▲p.147



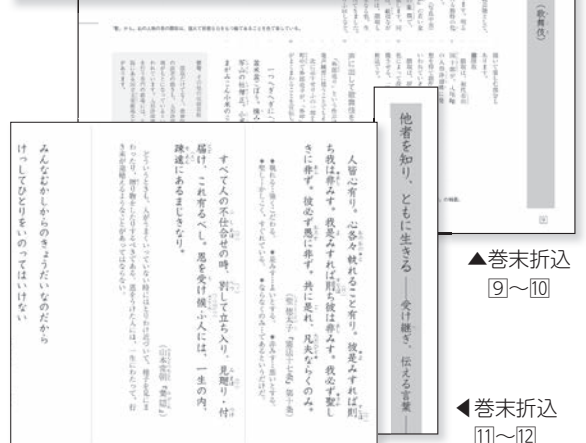
▲p.38



◀p.133



◀巻末折込 4～5



▲巻末折込 9～10

◀巻末折込 11～12

2. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標**を達成するために、構成・内容と教材の選択について、以下のような方針で編修しました。

☆生徒が表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように、**幅広い知識と教養**を身に付けられる構成・内容としました。
 ☆生徒一人一人が**個人の価値を尊重**して、その能力を伸ばし、**創造性を培う**ように配慮しました。

構成・内容

☆各領域とも**幅広い言語活動**を通して、国語の学習の**基礎的・基本的な能力や思考力・判断力・表現力**を育成することができるように、**系統的な単元構成・内容**としました。
 ☆さまざまな**言語活動**を通して、**言葉への興味・関心**を喚起するように配慮しました。

☆友達と話し合ったり、書いたりする活動を通して、**自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるもの**を精選しました。
 ☆**我が国と郷土、日本語を愛する**とともに、現代の私たちと古人との言語文化の共通点や相違点を探ることのできる教材と資料について考慮しました。

教材の選択

☆教材は、古今東西の名作をはじめ、幅広いジャンルの中から話題を選び、**親しみやすかつ学習指導要領の各指導事項に即したものを**精選しました。
 ☆**我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの**、**今ふれてもなお、いにしへの時代に思いをはせることができるもの**を厳選し、掲載しました。

3. 対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第二条の第1号から第5号**との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

領域	あてはまる教材名	特に意を用いた点や特色	該当箇所
話す・聞く	図表を用いて提案する	●「福祉施設への訪問」を話題として取り上げ、社会全体の幸福に対して敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養うことができるよう配慮しました。(第3号)	p.34～36
	話を聞いて自分の考えと比べる	●自然と人間との関わりについての話を聞き、自分の考えと比べることによって、生命や自然の大切さを主体的に考え、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第4号)	p.172～173
	役割を決めて討論する	●地域を活性化するための討論を行うことを通して、職業および生活との関連を身近なものとして重視し、勤労を重んずる態度を育成することができるよう配慮しました。(第2号)	p.224～227
書く	新聞の投書記事を書く	●「新聞の投書記事を書く」ことを通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を育成することができるよう配慮しました。(第3号)	p.48～49
	写真から物語を創作する	●「写真から物語を創作する」ことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう配慮しました。(第2号)	p.98～100

領域	あてはまる教材名	特に意を用いた点や特色	該当箇所
書く	お礼の手紙を書く	<ul style="list-style-type: none"> ● 「お礼の手紙を書く」ことを通して、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 職業体験に関わる学習活動を通して、職業と生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮しました。(第2号) ● 「手紙を書く」という伝統的な通信の方法や形式を学ぶことを通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号) 	p.130～132
	意見文を読み合う	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然に関する意見文を書き、互いに読み合うことで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第4号) 	p.174～175
	四コマ漫画から意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見文のテーマとして「文字」や「手書き」について考えることで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号) 	p.188～193
読む	虹の足	<ul style="list-style-type: none"> ● 鮮やかな「虹」のかかる風景から人間の「幸福」について気づくといった内容を読むことを通して、真理を求める態度や豊かな情操を培うことができるよう配慮しました。(第1号) 	p.14～16
	タオル／走れメロス	<ul style="list-style-type: none"> ● 「家族」「友情」「真実」といった中学生に身近でありながら、深遠な意味をもつことを素材とした文学を読むことを通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう配慮しました。(第2号) 	p.18～33 / p.204～223
	日本の花火の楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の花火の特性と、それを受容する日本人の美的感覚を解き明かすことを通して、我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、各国の花火文化の相違に目を向けることで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこともできるよう配慮しました。(第5号) 	p.40～47
	夢を跳ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館やインターネットの情報を活用することで、幅広い知識と教養が身に付くよう配慮しました。(第1号) ● 試練を乗り越えて生きる作者の文章を読むことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育むことができるよう配慮しました。(第3号) 	p.54～63
	物語を読み解く ——メディアの解釈——	<ul style="list-style-type: none"> ● 物語の特性について、小説と映像の表現手法の違いを手がかりに考えるなど、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 絵コンテを活用し、『ごんぎつね』の解釈を交流させることで、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう配慮しました。(第2号) 	p.64～76
	近代の短歌	<ul style="list-style-type: none"> ● 優れた表現で書かれた近代の短歌を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 日本の優れた詩歌、中でも近代の短歌にふれることで、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号) 	p.82～85
	夏の葬列	<ul style="list-style-type: none"> ● 個の自立と他者や社会との関係性をふまえ、生きるうえで倫理や正義の問題を考える作品を読むことを通して、正義と責任、公共の精神に基づいて主体的に社会参画に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第3号) 	p.86～97
	坊っちゃん	<ul style="list-style-type: none"> ● 個の自立と他者や社会との関係性をふまえ、生きるうえで倫理や正義の問題を考える作品を読むことを通して、正義と責任、公共の精神に基づいて主体的に社会参画に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第3号) ● 近代以降の日本を代表する作家の名作を読むことによって、我が国の伝統文化を尊重する態度を育てることができるよう配慮しました。(第5号) 	p.134～149
	水の山 富士山	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界文化遺産に登録された富士山の、保水の仕組みから自然と環境との強い関係を追求していく過程の理解を通して、幅広い知識と教養を用いて、真理を求めていく態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 富士山をめぐる水という生命を支える物質の動きを追求することを通して、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第4号) 	p.152～159
	ガイアの知性	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球規模、世界規模で現代の生命や知性を捉え直そうとする筆者の問題提起を、動物の興味深い行動に着目して推論を積み重ねながら読むことを通して、真理を求め、豊かな情操と道徳心も養うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 人間の動物に対する態度を考えていくことを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第4号) 	p.160～170
	学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ● 学びの先達からの知的な意見に学ぶことを通して、豊かな道徳心を培うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 「学ぶ」という人間においてもっとも特徴的で知的な姿勢について、中学校2年生という進路選択の意欲、学習意欲の高まる時期に読むことを通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培う態度、そして、職業と生活との関係を正面からとらえ直す態度を養い、「学び」の中で自主及び自律の精神を伸長することができるよう配慮しました。(第2号) 	p.178～186
	レモン哀歌	<ul style="list-style-type: none"> ● 著名で優れた近代の詩を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付けたり、豊かな情操を培うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 日本の優れた詩歌、中でも近代の詩にふれることで、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号) 	p.198～199
	言葉は私の聴診器	<ul style="list-style-type: none"> ● 精神科医による言葉を通じた患者との関わり方を学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、職業と生活との関係をとらえ直し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮しました。(第3号) 	p.228～229
	敦盛の最期——平家物語—— / 随筆の味わい——枕草子・徒然草—— / 二千五百年前からのメッセージ——孔子の言葉——	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な古典作品を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操や道徳心を培うことができるよう配慮しました。(第1号) ● 生徒が興味をもって接することができるよう作品を厳選するとともに、図や写真を掲載するなどして、我が国と中国の本格的な文化伝統にふれることができるようさまざまな工夫を施しました。(第5号) 	p.106～129

領域	あてはまる教材名	特に意を用いた点や特色	該当箇所
国語の特質	方言と共通語／話し言葉と書き言葉／敬語／類義語・対義語・多義語・同音語／活用のない自立語／活用のある自立語／付属語のいろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本語に関する基本的な知識と教養を通して、日常用いる言語を客観的に分析し、社会性や法則性に自ら気づくことができるよう配慮しました。〈第1号〉 ● (方言と共通語) 地域に根ざした言葉の存在やはたらきを学ぶことを通して、豊かな言語文化をはぐくんできた郷土を愛する態度を育成できるよう配慮しました。〈第5号〉 ● (敬語) 敬語の知識と適切な使用について学ぶことを通して、自他の敬愛を重んじ、主体的に社会に参画する態度を育成できるよう配慮しました。〈第3号〉 	p.37/52/ 133/194/ 77/176/ 201 p.232～267
付録	近代文学史年表／古典作品へのいざない／伝統芸能へのいざない／他者を知り、ともに生きる	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の近代文学の代表作や、歌舞伎についての解説や先人の作品や言葉の紹介を通して、伝統的な言語文化についての知識や教養を高めることができるように、さまざまな工夫を施しました。〈第5号〉 	巻末折込

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、**教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標**などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

▼p.86～87

☆特色1 見やすく、わかりやすい紙面

全体を通しての**統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさ**を意識したフォントやレイアウト、**安心感と安定感**のある色づかい、**トーンバランス**を心がけました。

☆特色2 小学校国語や高等学校国語との関連

第1学年では、中学校での国語の学びを励ます詩、**小学校国語で学んだことの振り返りと中学校国語で学ぶことを学習の「導入単元」として設置し、小学校国語と中学校国語の無理のない接続**を旨しました。また、幅広いジャンルから多数の図書を取り上げ、**読書を通して国語の基礎的な能力を養い、生活を明るく豊かにするよう**図りました。さらに、第3学年では、**高等学校「国語総合」でよく取り上げられる作者・筆者の作品を集めた「送り出し」単元を設定し、高等学校国語との接続も意識**しました。

☆特色3 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応…色覚等の特性をふまえた、**判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫**により、全ての生徒にとって**学びやすい紙面づくり**に配慮しています。カラーユニバーサルデザイン(CUD)は第三者機関による審査及び認証を受けています。

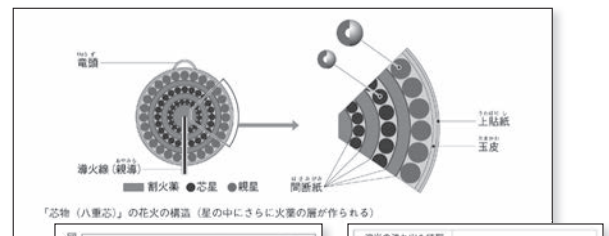
環境への配慮…教科書の印刷には**グリーン電力**を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、**再生紙と植物油インキ**を使用しています。



▲p.48～49

▼p.41

▶p.150



▲p.232



▲p.154

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-50	中学校	国語科	国 語	第2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 830	伝え合う言葉 中学国語 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書では、学習指導要領の目標及び内容を、具体的な活動を通して達成することを目指しました。特に以下の点に意を用いて編修しています。


○「言語能力」と「話題」を組み合わせた、新たな国語単元の創造

- 一年間の学習を、各領域の学習内容や活動過程に即して単元ごとに設定しています。また、各教材の学習内容の重点や言語活動の過程を明確に示し、学びが具体的に見えるように図りました。

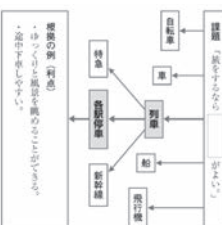
〔1学期〕

第1単元


1 言葉が照らし出す
書き手や話し手によって工夫された表現方法が、ものごとの新しい側面を私たちに見せてくれます。



2 関係を掘り起こす
自分と世界・ものごととはどのような関係にあるのか、引き出されたものをさまざまに解釈し、生かします。

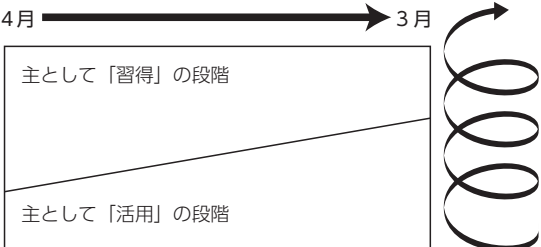


3 自己をひらく
自分の中に隠れているものを引き出して、さまざまに解釈して活用します。



○単元展開のイメージ


4月 → 3月



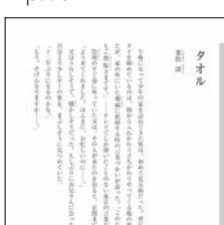
主として「習得」の段階
主として「活用」の段階

学習のスパイラル


▼p.35




▼p.18



▲p.54



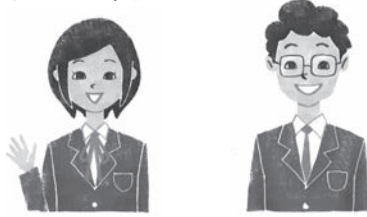
▲p.40



第4単元

4 表現を見つめる

文字や音声の表現一つ一つに丁寧に向き合くと、そこからさまざまな思考や想像が生まれてきます。



第5単元

5 伝統を見いだす

受け継がれ、読み継がれる作品に息づく伝統とは何かを見いだします。



▲p.132

第6単元

6 他者と生きる

比べて理解することで、世界を豊かに意味づけたり、他者と共存したりすることが可能となります。

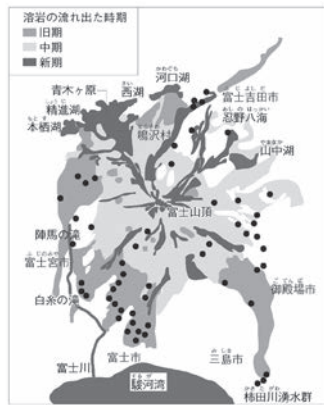


図2 富士山の地表の溶岩流が流れた時期と場所 (●は主な湧水)

▲p.154



▶p.82

Page 82: 近代の短歌. Includes a poem and a section titled '写真から物語を創作する' (Creating a story from photos).

◀p.98

▶p.107

Page 107: 平家物語合戦地図 (Heike Monogatari Battle Map). Includes a map of the region and several photographs of historical sites.

◀p.127

▼p.152

▼p.160

Pages 160-173: 水の山 富士山 (Water Mountain Mount Fuji). Includes a section on 'ガイアの知性' (Gaia's Intelligence) and a section on '話を聞いて自分の考えを仕立てる' (Listening to stories and forming one's own thoughts).

◀p.172~173

[3学期]

第7単元

7 自己と対話する

社会生活や自分自身の生き方について、文章をもとに自分の考えをもちます。



▼p.188



▼p.178



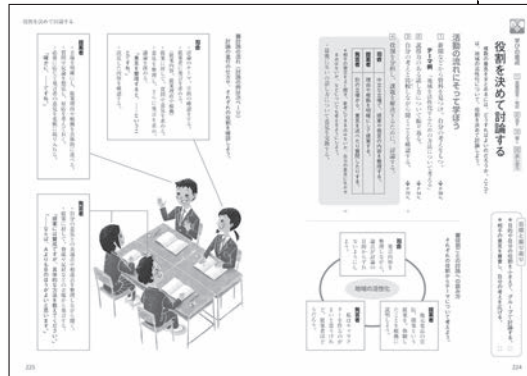
第8単元

8 考えを交流する

多様に読める文章から自分の考えをもち、周りの人と交流します。



▶p.217



◀p.224~225

3年の国語
学習へ

○思考力・判断力・表現力を高める、新しい「学習の手引き」の開発

- 課題を発見し、自分で考え、解決する、という課題解決の道筋にそって学習が進められるように、「学習の手引き（みちしるべ）」を構成しました。また、学習のポイントをわかりやすくまとめたコラム「ここが大事」を設定したり、表現領域や言語教材との関連、関連図書の紹介を示したりするなど、**思考力・判断力・表現力を高める工夫**をしました。

▶p.221



〔「学習の手引き」の構成〕

目標と振り返り 教材の目標と自己評価

確かめよう 情報の取り出し（何がどう書かれているか）
 深めよう 内容の解釈（なぜそう書かれているか）
 考えよう 考えの形成・表現（自分はどう考えるか）

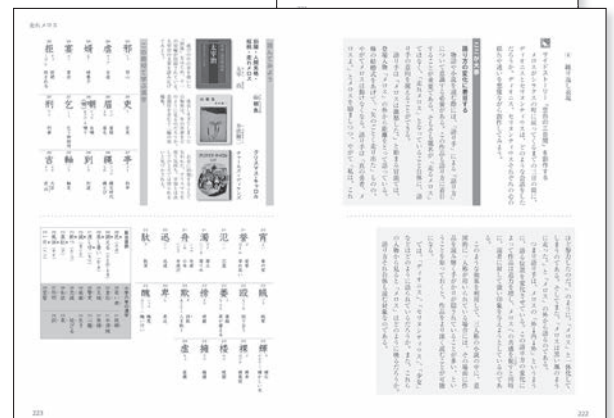
ここが大事 学習の重点

言葉・表現 言葉と文章内容・表現との関連学習

領域関連 「話すこと・聞くこと」「書くこと」との関連学習

読んでみよう 教材に関連する図書紹介

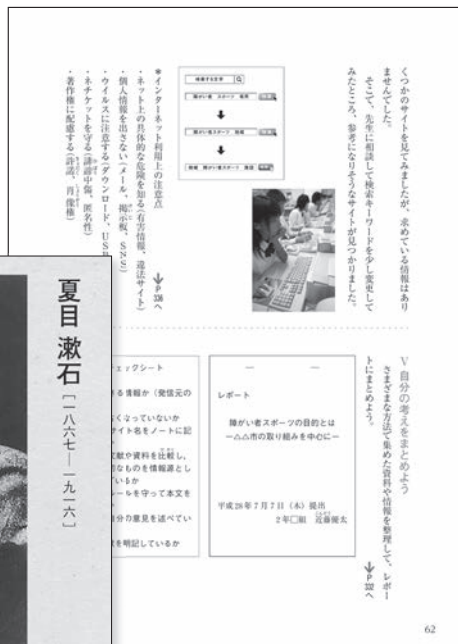
▼p.222~223



○「情報活用」と「近代文学」の2系統で設定された読書教材

- 図書館やインターネットで調べたことをもとに表現する言語活動を通して、多様な情報活用の力が身に付くように図っています。
- 我が国を代表する作家や作品にふれ、名作の世界に興味をもつように図っています。

▶p.62



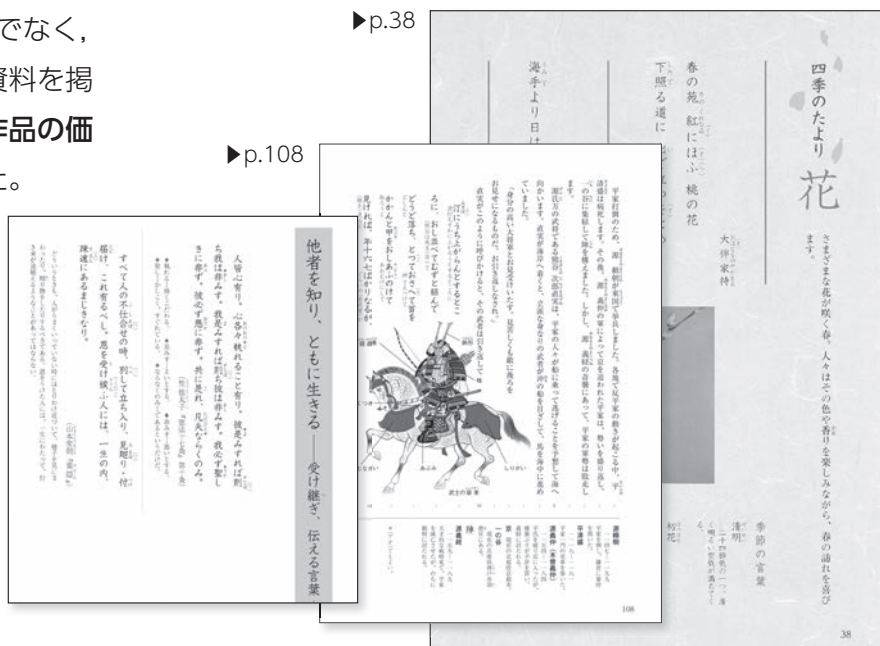
▲p.147

○豊富な写真と充実した周辺資料を備えた、ビジュアルで親しみやすい古典教材

- 多様な古典作品について、文章だけでなく、関連する写真や図版などの豊富な資料を掲載し、今日まで受け継がれている作品の価値を認識できるように構成しました。
- 四季折々にまつわる作品や行事、先人が残してきた言葉などを通して、古典の世界に多角的にふれることができるようにしています。

▶p.38

▶p.108



▶折込11~12

☆ 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン (CUD) は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮

教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

2. 対照表

教科書の単元配列	配当時間 ()内は、含まれる 領域の時間	学習指導要領の内容	該当箇所
一 言葉が照らし出す 【詩】 虹の足 吉野 弘 対話への扉 質問する力をつける 【物語】 タオル 重松 清 図表を用いて提案する 言葉の小窓1 方言と共通語 四季のたより 花	2 (書1) 話聞1 6 話聞4 2 *	C(1)ア、(2)ア／B(1)ウ A(1)エ、(2)ア C(1)ア・イ、(2)ア A(1)ア・イ・ウ、(2)ア 伝国(1)イ (ア) 伝国(1)ア (ア)	14～16ページ 17ページ 18～33ページ 34～36ページ 37ページ・232～235ページ 38ページ
二 関係を掘り起こす 【説明】 日本の花火の楽しみ 小野里公成 新聞の投書記事を書く 漢字の広場1 まちがえやすい漢字 言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉	5 (書1) 書5 1 2	C(1)ア・イ、(2)イ／B(1)ア B(1)ア・イ、(2)イ 伝国(1)ウ (ア)・(イ) 伝国(1)イ (ア)	40～47ページ 48～49ページ 50～51ページ 52ページ・236～238ページ
三 自己をひらく 【読書】 夢を遊ぶ 佐藤真海 【メディア】 物語を読み解く——メディアの解釈—— 文法の小窓1 活用のない自立語 漢字の広場2 漢字の成り立ち 四季のたより 水	4 (書2) 3 2 1 *	C(1)オ、(2)ウ／B(1)ウ C(1)オ、(2)ウ 伝国(1)イ (エ) 伝国(1)ウ (ア)・(イ) 伝国(1)ア (ア)	54～63ページ 64～76ページ 77ページ・248～253ページ 78～79ページ 80ページ
四 表現を見つめる 【短歌】 近代の短歌 【小説】 夏の葬列 山川方夫 写真から物語を創作する 漢字の広場3 漢字の多義性 四季のたより 月	3 (書1) 6 書4 1 *	C(1)ア・イ、(2)ア／B(1)ウ C(1)イ・ウ、(2)ア B(1)ウ、(2)ア 伝国(1)イ(イ)／伝国(1)ウ (ア)・(イ) 伝国(1)ア (ア)	82～85ページ 86～97ページ 98～100ページ 102～103ページ 104ページ
五 伝統を見いだす 【古文】 敦盛の最期——平家物語—— 【古文】 随筆の味わい——枕草子・徒然草—— 【漢文】 二千五百年前からのメッセージ——孔子の言葉—— お礼の手紙を書く 言葉の小窓3 敬語 【読書】 坊っちゃん 夏目漱石	3 3 3 書4 2 3	伝国(1)ア (ア)・(イ)／C(1)イ、(2)ア 伝国(1)ア (イ)／C(1)エ 伝国(1)ア (ア)／C(1)エ B(1)エ、(2)ウ／伝国(1)イ (オ) 伝国(1)イ (ア) C(1)オ、(2)ウ	106～115ページ 116～125ページ 126～129ページ 130～132ページ 133ページ・239～241ページ 134～149ページ
六 他者と生きる 【説明】 水の山 富士山 丸井敦尚 【評論】 ガイアの知性 龍村 仁 話を聞いて自分の考えと比べる 意見文を読み合う 文法の小窓2 活用のある自立語	3 5 (話聞1) 話聞4 書4 3	C(1)ア・イ・ウ、(2)イ C(1)ア・イ・ウ、(2)イ／A(1)イ・エ A(1)エ、(2)ア B(1)オ、(2)イ 伝国(1)イ (エ)	152～159ページ 160～170ページ 172～173ページ 174～175ページ 176ページ・254～262ページ
七 自己と対話する 【評論】 学ぶ力 内田 樹 四コマ漫画から意見文を書く 言葉の小窓4 類義語・対義語・多義語・同音語 四季のたより 雪	5 (書1) 書6 2 *	C(1)ア・イ・エ、(2)イ／B(1)ウ B(1)ア・イ・ウ・エ・オ、(2)イ 伝国(1)イ (イ) 伝国(1)ア (ア)	178～186ページ 188～193ページ 194ページ・242～245ページ 196ページ
八 考えを交流する 【詩】 レモン哀歌 高村光太郎 反対意見を想定して話すには 文法の小窓3 付属語のいろいろ 漢字の広場4 同音の漢字 【小説】 走れメロス 太宰 治 役割を決めて討論する 言葉と仕事 言葉は私の聴診器 香山リカ	1 * 2 1 6 (書1) 話聞5 *	C(1)ウ・エ、(2)ア A(1)イ、(2)ア 伝国(1)イ (エ) 伝国(1)イ(イ)／伝国(1)ウ(ア)・(イ) C(1)イ・エ、(2)ア／B(1)ウ A(1)オ、(2)イ C(1)オ	198～199ページ 200ページ 201ページ・263～267ページ 202～203ページ 204～223ページ 224～227ページ 228～229ページ
言葉と文法 一年の復習	*	伝国(1)イ (ウ)	246～247ページ

(計) 話聞 15時間
 書 30時間
 計 117時間 (*印の教材は、適宜扱う)